

2019年8月26日

2019年度第1回関西学生フォーラム 開催報告

文責：金子 史弥（立命館大学）

1. 概要

日時：2019年7月21日（日）14時～17時

会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟4階 B412 研究会室

参加者数：13名

2. 内容

(1)個人報告

竹崎一真（筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻）

「戦後日本における女性身体観の形成と展開：「八頭身」言説の登場と女子体育会の展開に着目して」

(2)学会大会「学生フォーラム企画」の打ち合わせ

【以下、報告】

2019年7月21日、立命館大学大阪いばらきキャンパスにて2019年度第1回関西学生フォーラムを開催した。当日は合計13名の参加があり、世話人を除くと2名の大学院生の参加があった。

当日はまず、1時間半ほどの時間を用いて竹崎氏による研究発表と参加者によるその内容の検討が行われた。竹崎氏の研究報告は、戦後直後において女性が目指すべき身体イメージとして位置づけられた「八頭身」をめぐる言説を、当時の政治・社会的状況や女子体育の状況を踏まえながら、バトラー（1999）の提示したジェンダーの系譜学的手法を用いて描こうとするものであった。報告後は、竹崎氏の戦後女子体育に対する認識、当時の政治的・社会的状況に対する理解、バトラーを方法論とするときの可能性と限界などに関する質問が参加者からなされた。

次に、学会大会「学生フォーラム」に関する議論が行われた。まずは関西学生フォーラムが担当する学生フォーラム企画の時期の確認が行われ、関西学生フォーラムとしては2020年度の担当を希望することが確認された。次に世話人の一人である竹村直樹氏（龍谷大学）から資料を用いての問題提起が行われた。その後、世話人と参加者の間で、企画の趣旨や目的、考えられるシンポジスト等についての意見交換がなされた。その上で、世話人が第2回研究会までに、具体的なシンポジストの候補者を含めて企画の練り直しを行うことが確認された。

以上